

法政大学キャリアデザイン学会 研究会 2023年度

研究報告テーマ

質的研究の分析方法の一例として

～修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) の解説

2024年

2月26日(月)

18:30～20:00

@ZOOMによるオンライン開催

2月20日(火)
申込〆切



法政大学大学院
政策創造研究科 兼任講師
M-GTA研究会世話人

岸田泰則 先生

法政大学大学院政策創造研究科博士後期課程修了。博士(政策学)。専門社会調査士。重工業メーカーに勤務の傍ら、高齢者雇用政策を研究。法政大学優秀博士論文出版助成により『シニアと職場をつなぐ—ジョブ・クラフティングの実践』を上梓。『全能連マネジメント・アワード』アカデミック・フェロー・オブ・ザ・イヤー受賞。人材育成学会奨励賞(研究部門)受賞。現在、千葉経済大学非常勤講師、労働政策研究・研修機構「デジタル人材の能力開発・キャリア形成に関する研究会」委員、神戸大学経済経営研究所客員研究員としても活動中。

＜主な業績＞：
・「シニア労働者のジョブ・クラフティング」高尾義明・森永雄太(編著)『ジョブ・クラフティング—仕事の自律的再創造に向けた理論的・実践的アプローチ』,第11章,2023年
・「大企業に勤務する定年再雇用者の縮小的ジョブ・クラフティング行動に関する研究」労務理論学会誌No.29,2020年
・「高齢雇用者のジョブ・クラフティングの規定要因とその影響—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチからの探索的検討」日本労働研究雑誌No.703,2019年



お申し込みはこちらのQRコードから

<https://forms.gle/gxnTjgMBffUuxSEw8>

研究会運営委員:松浦民恵

